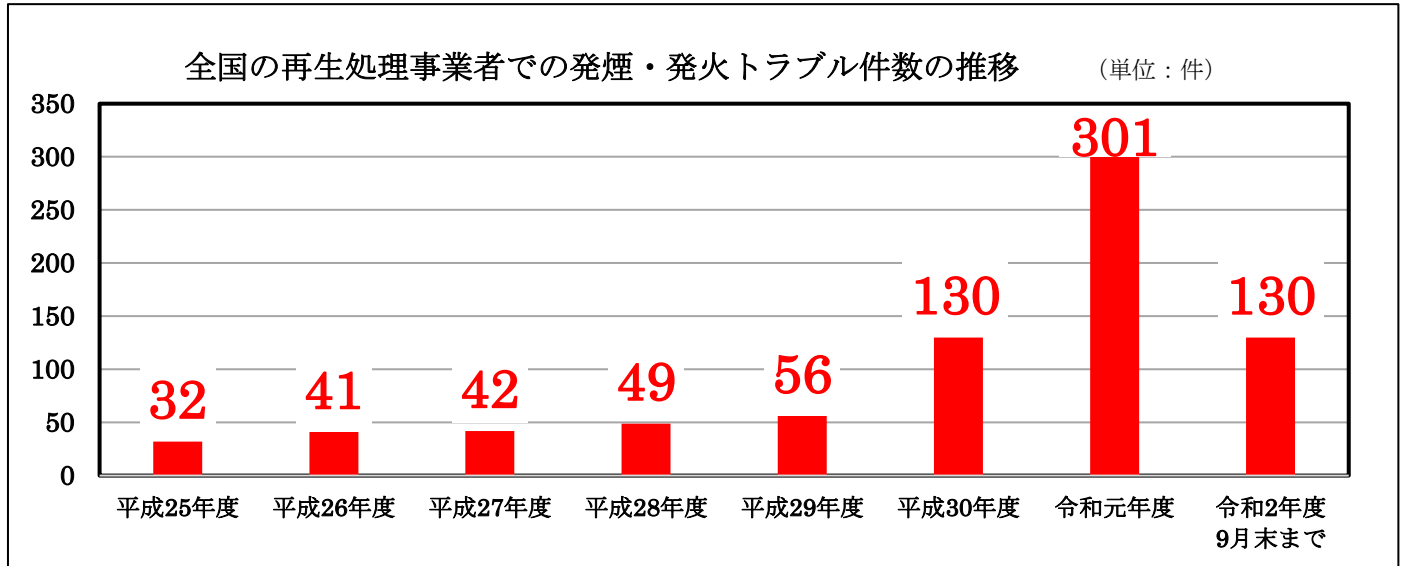


全国のプラスチック製容器包装再生処理事業者において、プラスチック製容器包装ベールに混入された発火危険物による発煙・発火トラブルは、令和元年度で301件発生しました。令和元年11月には、プラスチック再生処理事業者の工場建屋がほぼ全焼するという大規模火災も発生してしまいました。

今年度は、9月末時点で既に130件発生しており、円滑な再商品化に支障をきたす状況となっております。



< 発煙・発火トラブルの原因物 内訳 >

発煙・発火原因物	件数		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度 9月末まで
リチウムイオン電池 ※使用電子機器不明	80	142	53
加熱式タバコ	15	59	31
モバイルバッテリー	2	24	7
掃除機バッテリー	3	8	0
乾電池	5	7	2
ライター	0	2	1
発火原因特定出来ず	25	59	36
合計	130	301	130

【令和元年11月に発生したプラスチック再生処理事業者での大規模火災現場の様子】

※写真転載厳禁



※別添資料として「リチウムイオン電池混入防止取組事例集 2020年版」を同封しておりますので、ご参照ください。